

\*政治データ分析 シンタックス-度数分布とデータ変容.

```
*get file='shugi05.sav'.
```

\*get fileでは、使用したデータファイルを示している。.

\*次のsetを実行すると、値とラベル両方が、結果に表示される。

「編集>オプション」で、設定を変更するのと同じこと。.

```
set OVars=Labels ONumbers=Labels TVars=Both TNumbers=Both .
```

\*度数分布表を出力するには、

```
fre clean.
```

```
fre elecint.
```

\*有効パーセントを表示するためには、do not knowを分析から省く

必要がある。そのことを、「欠損値として扱う」と言う。.

```
missing values elecint(5).
```

```
fre elecint.
```

```
missing values govote(5).
```

```
fre govote.
```

\*投票にさいして、考慮した争点 (Q5, sq2) .

\*他の質問と異なり、これは「多重回答」となっているので、

回答項目ごとに変数を用意することになる。.

```
fre issue01 to issue19.
```

```
missing values issue01 to issue19 (9).
```

```
fre issue01 to issue19.
```

\*投票をした人たちについて、考慮した争点の数を求めるには、

次のように、recode・compute・freを組み合わせる。.

\*recode で、2 (「こたえていない-not mentioned) 」を0に変換して、

新しい変数として置き換える。.

\*issue01などは元の変数で、i01などが、変換後の新しい変数。

```
recode issue01 to issue19 (1=1)(2=0)(9=9) into i01 to i19.
```

```
fre issue01 i01.
```

```
missing values i01 to i19 (9).
```

\*compute では、計算をして、その結果を新しい変数に置き換える。

ここでは、考慮した争点の数を集計する (足し算をする) ので、

「sum (合計)」のキーワードを使っている。.

```
compute NofIssues=sum(i01,i02,i03,i04,i05,i06,i07,i08,i09,i10,i11,i12,i13,i14,i15,i16,i17,i18,i19).
```

```
fre NofIssues.
```

```
des NofIssues.
```

\*なお、これと、compute NofIssues2= i01 + i02 + ----- + i19との違い

については、山本 p 102、下から5行目を参照のこと。